◇小規模特任校◇ 神埼市内全域から就学できます。

希望の子

令和7年2月26日（水）
第23号
校長　吉家 恵美

学校 HP

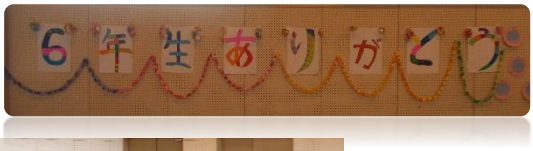
【　卒業、進級に向けて　】

今年の２月は全国的にも寒い日が多く、脊振でも気温が氷点下になることが多かったです。早いもので、その２月もあっという間に終わろうとしています。先日の「６年生を送る会」（２２日・土曜日開催）には、寒い中たくさんの保護者の方々に来ていただき、ありがとうございました。どの学年の出し物も元気いっぱい、素晴らしい内容で心が温かくなりました。

2月22日(土)6年生を送る会

〈１・２年〉

〈４・５年〉



〈掲示物〉

〈６年〉

【　入賞おめでとう！　】

※敬称は省略しています。

【第６０回新春読書感想文コンクール県審査】

〇佳作　　６年　久保　さん
「本がふやしてくれた、もう一つの夢」

【立体作品展】

〔県準特選〕

〇１年　　松永　さん
〇２年　　中島　さん
〇４年　　佐藤　さん
〇６年　　末次　さん

【　～　脊振小の歴史　～　】

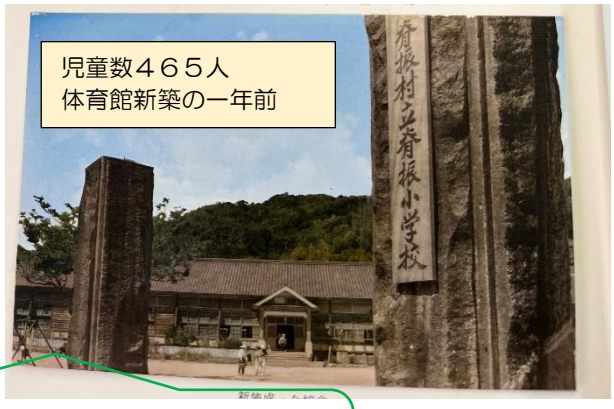
本校の「学校沿革」は『明治８年（１８７５年）』から始まります。その頃は広滝、岩谷、鹿路、鳥羽院、服巻、久保山、竜作、犬井谷、東鹿路に分教場を設置、とされています。そして明治２５年（１８９２年）、広滝小学校を「脊振尋常小学校」と改称したとされます。石の門建立の大正時代を経た昭和初期は脊振国民学校となり、昭和２２年、「脊振村立脊振小学校」となります。

校長室には昭和２２年以降の歴代の校長先生方の写真や校舎の変遷が分かる写真があります。また、これまでの卒業アルバムなども保管しています。歴史を知ることは未来を描くこと。この紙面を借りて、本校の歴史を振り返りたいと思います。地域の皆様、保護者の皆様、一緒に学校や脊振の歴史に思いを馳せてみませんか。

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

児童数５３７人
本校・鳥羽院分校給食室完成の１年後。
「健康優良校」表彰（朝日新聞社より）

昭和三十七年度の卒業アルバムより



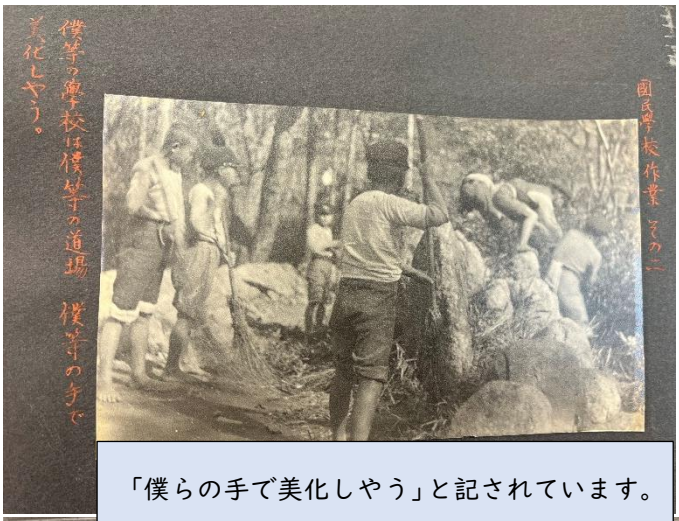
児童数４６５人
体育館新築の一年前

昭和四十年度の卒業アルバムより

本校学校運営協議会の委員の皆様より、「小中学校の「学校便り」等に載っている、これまでの（昔の）学校の写真等は、地域の方々の話題となっています。」とお聞きしました。小学校では掲載しておりませんでしたので今回、載せております。ご意見ありがとうございます。

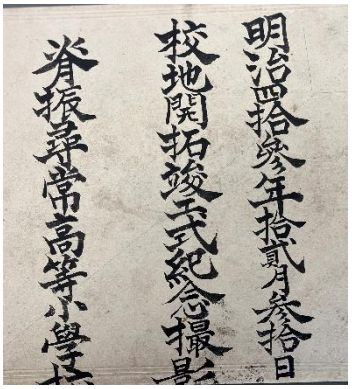
裏面もあります。

（おそらく）国民学校時代（昭和１６～２２年ごろ）の古いアルバムより



「僕らの手で美化しやう」と記されています。

「裏も表も変わらぬやう磨いてこそ美しい自然の姿がはっきりとみられる」と記されています。



明治時代後期の資料もありました。石の門が運ばれてくる前の本校踏鞴橋～運動場付近だと思われます。

この３年後、石の門が建設されました。そして約４０年後、運動場拡張に伴い現在の位置に移動されました。